

鎌中CS理事長5年、今月退任

コミュニティスクール

松阪市立鎌田中学校のコミュニティスクール理事
長・山川寛さん(73)は荒
木町IIが今月で、5年間務
めた理事長職を退く。これ
までの活動を振り返り、「人
生は人と人。困った時に助
けてくれるのは人。子供た
ちには人の温かみを知って
育ってほしい」と子供たち
への思いを話す。

山川さんは大口町に本社
を置く三重化学工業の取締
役会長を務める。

父親が経営する「化学洗
剤・タール石けん」を作る
会社の3人きょうだいの次
男として生まれた。小学校
高学年から高校卒業まで、
学校が終わると、すぐに帰
宅し家業の商品である洗濯
のりを作った。高校卒業後
は会社の営業マンとして、
父と兄が作った商品売

ため、北海道から九州まで
全国を飛び回った。電話帳
を頼りに営業先を探し、と
にかく人に会いに行つた。
その経験から、「いろんな
人がいる。世の中は人間関
係でできている」というこ
とを身に染みて感じた。

コミュニティスクール
は、学校の中だけではなく、
地域住民との関わりの中で
教育活動を行っていく取り
組み。親や教師以外の大人
たちと接する機会も多い。

「これから世の中に出てい
く子供たちには、地域の中
で多様性や関係性などを感
じ、成長の糧にしてもらい
たい」と考える。

自身の子育て体験とし
て、45歳の時に妻を亡くし
た。それまで子供のことほ
妻に任せきりで仕事に打ち
込んでいた。しかし、妻が
いなくなり当時中学2年生
と高校2年生の息子と向き
合うことになった。子供た
ちは多感な時期。子育ての
難しさを痛感した。

そんな思いもあり、仕事
C S理事長を退くこと
になり思いを語る山川
さん=大口町の自社で



C S理事長を退くこと
になり思いを語る山川
さん=大口町の自社で

地域へ恩返し、これからも

荒木町の妻他界(28年前)、子育ての難しさ痛感
山川さん

でお世話になった全国の人
たちへお返しするのは難し
いので、せめて地域に恩返
ししたいという強い気持ち
で、自治会やCS活動に参
加した。8年ほど前から毎
朝、同中学校の校門前で登
校する生徒を迎えている。

5年前からはCS理事長
に就任。3年前には校舎が
新しくなり、公民館も入っ
て地域の人が入りやすくな
った。CS活動も一層の充実
が期待されたが、あいにく
のコロナ禍に見舞われた。

それもようやく出口が見
え、昨秋の鎌田祭は学校と
地域が一体となり活況を呈
した。子供たちが地域の人
と触れ合う機会は増え、学
校の雰囲気は明るく開放的
に変わった。「これはすご
く良かったこと」と振り返
る。

年齢などを理由にCS活
動は後任に引き継ぐが、今
後も地域の1人として子供
たちを支えて応援していき
たいと話す。